

つながりの学校「PLAT」通信

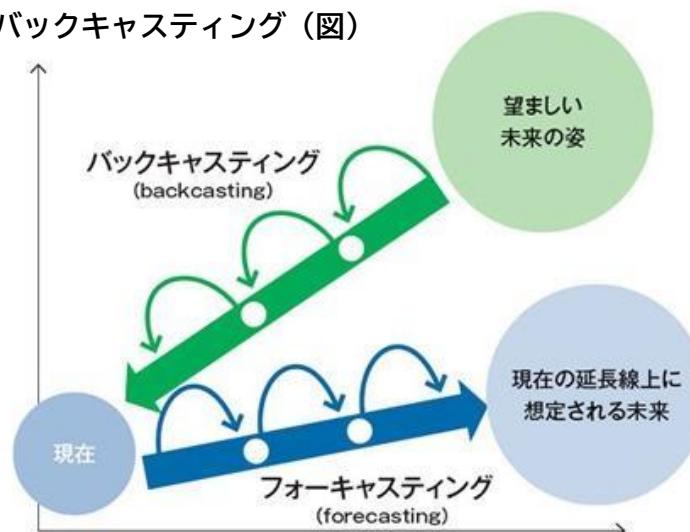
VOL.4

町の未来を変える～私の小さな一歩から～

1月17日に全4回の最終回を行いました。
最後は、前3回で学んだことを踏まえて、
『①大刀洗とどんな関わりを持って生きたいか』
『②大刀洗で何を実現したいか』
『③具体的にどんな活動をしたいか？』
を一人ひとりが自分と向き合って考え、最後に輪になって発表しました。お互いを尊重しあう温かい空気が場を満たしながら、心地よい時間が流れていきました。



バックキャスティング（図）



出典：事業構想 web サイトより

想いを語り、そして・・・

参加者の発表の一部を紹介します。

- 〈知り合えた人の応援屋さんをしたい〉
- 〈町で人が繋がる小さなマルシェを行う〉
- 〈町の写真屋さんをしたい〉
- 〈女性の生理前のイライラを減らすヨガをする〉
- 〈ベビーサインを通じて、ママたちの居場所を〉
- 〈アートを通じて、町に貢献〉など

他にも「仲間をつくる」「場をつくる」などの声。

小さな一歩ですが、ここからがスタートです！

こんなシーンがあったらしいな

まず、自分が町で何をしたいかを考える前に班でワークを行いました。「10年スパンで、町にこんなシーンがあったらしいな」を考える。いい映画は、目を瞑ると、思い出のシーンが浮かびます。まちづくりも同じで、いいシーンを思い浮かべて、そこからその実現を考えていく。この手法を「バックキャスティング」といいます。その反対が「フォーキャスティング」。現状からはじめると、既存の考え方から離れられない。

一旦、現状を置いといて、望ましい未来の姿から考えていくと、いいアイデアが生まれてきます。



【担当が感じたポイント】

ナンバーワンではなくオンリーワン 一人ひとり違う種をもつ

とっても有名な曲。『世界に一つだけの花』を思い出しました。今回の講座で、多くのことを学び、そして参加者の発表内容はどれも多様で素敵なものでした。これから大事にしたいこと。人と比べず『一人ひとり違う種を持つ その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい』



【編集・担当】
地域振興課自治振興係
渡邊 直也